



YMCA NEWS LETTER

ひめじ



姫路YMCA聖句 「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」 ローマ信徒への手紙12章15節

発行人:NPO法人姫路YMCA 発行所:揖保郡太子町原白毛山921 TEL079(277)1872 URL <http://www/himeji-ymca.org>

今年の夏は、暑い夏でした。キャンプ場にいたため世間の様子はあまりわかりませんでしたが、それでもリオオリンピックの日本の選手の活躍がリーダーや子どもたちを通して様子が伝わってきました。柔道、水泳、体操に始まり、卓球、テニス、バドミントン、様々な選手の活躍がありました。圧巻は陸上男子400メートルリレー銀メダル。素晴らしいことだと感激しました。世界に名だたる選手が居並ぶ中で、バトンタッチでチームワーク発揮し見事銀メダルに輝いた。選手たちの輝きがひときわ印象に残っています。子どもたちもこうした選手にあこがれを抱き、成長していくのだろうと思うとリオで活躍した選手たちの活躍が2020年開催の東京オリンピックに引き継がれていくのだろうと予感しています。今年のクローリングファイヤーで「ONE FOR ALL」「ALL FOR ONE」の話をしました。出典は三銃士のダルタニアンという言葉。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」まさし



くキャンプはそういうものであったのではないかと思います。一人一人の能力や経験値には差がありますが、キャンパーのために一人ひとりの持ち力を合わせ、その結果として、リーダーの輝きが子どもたちに感動を与えるものではないかと考えます。

9月に入ったら、パラリンピックが始まります。様々な形でハンディキャップを背負っている人たちのオリンピックです。パラリンピックという言葉が用いられたのは1964年に開催された東京オリンピックとあります。「すべての人にスポーツを」の願いを込められてつくられ

た言葉です。また、今回のオリンピックでは初めて難民選手団が結成されました。

近代オリンピックの創始者のクーベルタン男爵は「オリンピックで最も重要なことは、勝つことではなく参加することである。同様に、人生において最も重要なことは、勝つことではなく奮励努力することである。肝要なのは、勝利者になったということではなく健気に戦ったということである」この言葉をもう一度かみしめたいと思います。

9月の予定

- 9月 2日～4日 太子キャンプ場撤収
- 9月 3日(土)ワイズメンズクラブ・リーダー交流会(姫路ワイズ主催)
- 9月 5日(月) 第3回常議員会
- 9月12日(月) A S 打ち合わせ会
- 9月18日(日) 野外活動クラブ9月活動
- 9月25日(日) 太子町全児童プログラム
- 9月29日(木) 姫路ワイズ役員会
- 10月1日(土) 姫路Gワイズ例会、
いのちの電話事務局長、伊藤大典氏



野外活動クラブ8月活動 笹井紀予(キリン) リーダー

8月の野外活動クラブは、いつもと違う一泊二日のお泊まりキャンプでした。今回の

キャンプでは、グループ意識を大切にすべくグループそれぞれで遊びたいことをおもう存分にやりました。その中でも、大きなシャボン玉を作るために液から挑戦したチャレンジクラブ・のびのびゆうゆうクラブ、自然の竹を使い夏ならでわの水鉄砲を作ったアドベンチャー



クラブ。どのクラブも男女別々のグループ分けだったからこそ言い合いをしたり、中が深まりました。夜のバーベキュー、キャンプファイヤーでは全員で楽しみながらひと時をすごしました。二日目には、カレー作りをしました。普通のカレーではなく夏カレーをイメージとした野菜を自分達が選んでオリジナルのカレーを作りました。各グループ違う味となり、普段家や学校で食べれないカレーを火起こしから自分達で考えてやりました。新聞紙を使わないで火起こししたグループ、野菜の切り方を工夫したグループ、隠し味を入れたグループいろいろありました。自分達で相談しながら自分達のカレーを作り、時間をかけて作ったカレー作りは一泊二日での活動で印象にのこるものになりました。定例の活動も半分が過ぎ子どもたち同士も仲良くなり、グループ意識が高まってきました。私たちリーダーも人数が増え毎月賑やかにになりました。今後ともみんなで楽しめる活動をしていきたいです。



チャレンジサマーキャンプ 阪田侑紀(ボックリ) リーダー

夏の最後のプログラム、チャレンジサマーキャンプが28日～30日の予定で始まりました。久しぶりにキャンプ場に来てくれた子どもや、初めて来てくれた子どもを合わせ、29人の子どもたちが夏休みの最後の思い出を作りキャンプ場につどいました。初めは、泊まりということもあって、どこかドキドキした表情を見せながらも、つどいがはじまるにつれ笑顔も見られるようになりました。グループタイムはチャレンジをテーマに各グループに分かれて活動をしました。釣り、山登り・探検など太子キャンプ場でやりたい事を時間いっぱい遊びました。1日目の夕食はBBQ!! 食堂前につどい、最初の夜をみんなでおいしいご飯を食べながら楽しく過ごし、お風呂に入ってから、おやすみまでの時間を天体観測、肝試し、ナイトハイクなどをして過ごしました。



2日目は台風による大雨の影響により、たいへん残念ではありましたが、子どもたちの安全を考え2日目の午前中で中止というかたちでこのキャンプは終わりました。グループのお友だち、リーダーと別れを惜しみながら最後の最後まで楽しんでいる姿が見られました。今年の夏もたくさん子どもたちが太子キャンプ場に来て、一夏の思い出を作り、充実した時間を過ごしたのではないかと思います。今夏からまた歌い始めた「いつかまた太子で」の歌詞にあるように、「僕らの合言葉 いつかまた太子で」太子キャンプ場でまた会えるのを楽しみに待っています!!

2016 YMCA International Camp Counselor Program (ICCPJ)

姫路YMCAでは今年も台湾よりICCPJの受け入れをしました。今年はアフタースクールで1ヶ月半という長い間、プログラムに関わってもらい、子どもたちとともに過ごした台湾から来た二人の学生たちの感想です。

リリー

想像していた生活とは違いましたが、7月15日～8月31日までの1か月半、ジナと一緒にマンションで生活をし、本当の日本の生活が体験でき良かったです。また、アフタースクールで子ども達とたくさんの時間を過ごし、日本人がどのように考え、生活をしているのかを感じることが出来ました。YMCAのスタッフの方々に親切にってもらい、日本人の仕事に取り組む真面目な姿勢や気遣いをたくさん感じ、有難かったです。この夏で、世界の大きさと不思議をたくさん感じました。



ジナ

私の学生時代最後の夏休みは、本当に楽しい1ヶ月半でした。最初は子供たちの話すスピードが速くて、全然わからず苦労もしました。そんな時、YMCAのスタッフの方に「いっぱい子ども達と遊ぶことが、解決につながるよ」とアドバイスをもらいました。確かに2週間が経つと、子ども達と仲良くなって、問題は解決しました。初めて日本の子ども達と遊び、ホームステイをし、日本人と一緒に仕事をし、たくさんの良い思い出が出来て良かったです。台湾に帰っても、時間を作って、子ども達と姫路YMCAの皆さんに会いに来ます。



ばい茂っていて、恐竜が出てきそう！」ということで、「ジュラ紀の森」と名付けられた、森の遊び場。ここでは、リーダー主導のプログラムは無く、子ども達のアイデアと、「やってみ

たい」「こうしたい！」という思いに基づいて、遊びが展開されていきました。仲間と協力して、入口に橋を架け、秘密基地を作ったり、森の探検に出かけたり。道具が必要な時には、ロープの代わりにツタを探し、石や木で穴を掘り、葉っぱで磨くなど、この森にあるものを生かしながら遊ぶようになってきています。子ども達が作ってきた遊び場が、この先どのように変化し、ここでどんな遊びが展開されていくのか、とても楽しみです。

夏休みの1ヶ月半、子ども達の傍らに寄り添い、遊びを中心とする生活を支えてくれたのは、台中YMCAから派遣されたジナ&リリーでした。来日当初は、子ども達の言葉の早さに苦悩しましたが、苦難の時にも諦めることなく「より積極的に子ども達と遊ぶ」という方法



で、自ら課題を解決していった姿には感心をさせられました。すっかり子ども達とも仲良くなった頃には、2人の企画により「台湾DAY」を実施。地球儀や写真を使って台湾の生活や言葉を紹介し、台湾の屋台おやつを皆で作



り、楽しい交流の時となりました。ジナ&リリーとの出会いを通じて、子ども達の世界は大きく広がり、海の向こうにも大切な仲間ができました。国を超えた友情、小さい

森の学童保育園

スタッフ 美時 智子

森の学童保育園が迎えた、初の夏休み。キャンプ場では、カヌーやプールなどの水遊び、のこぎりや金槌を使った木工工作、野外料理では火起こしにも挑戦し、自然の中で豊かな経験をさせていただきました。すっかりキャンプ場にも慣れ「新しい遊び場を作ろう！」と、森の奥に分け入って子ども達の手による遊び場作りも始まりました。「木も草もいっ



けれど信頼に基づく繋がりこそが、平和を築く礎になると信じています。別れが近づくと「僕をスーツケースに入れて、台湾に連れて行って!」「リーダー、カヌーかして!台湾まで漕いで行くわ!」との言葉も聞かれ、2人の帰国後にも、キャンプ場で飛行機を見つけ「ジナとリリーは、今、何をしているかな?」と懐かしく思い出す子がいました。子ども達の心の底にとっても大切な一粒、平和の種をまいてくれたジナ&リリーに、心より感謝です。

定員まであと少し! 森のアフタースクール 募集中!!! ...放課後を、豊かな育ちの場に

- 対象：太子町 太田小学校 1年生～6年生（2016年度） ● 定員25名 ● 開所： 授業日・土曜日・長期休暇
- 場所：YMCAアフタースクール（東保358-2 太田小より徒歩7分） 姫路YMCA太子キャンプ場
- 費用：10,000円/月（おやつ代・土曜保育料含む）8月・12月・3月は別途長期保育料が必要です。



NPO法人 姫路YMCA
URL <http://www.himeji-ymca.org/>

〒671-1502 揖保郡太子町 原 白毛山921
TEL 079-277-1872 FAX 079-277-1803

